桃割れの娘さんが 提案の説明を

目下獄中にある野倉萬治氏が あらたに會長に當選

勞働總同盟神戸大會

勞働總同盟神戸聯合會大正十三年度の進路指針を定むるとも見らるべき大會は三日午前九時から山手**基督**教青年會館大講堂で開かれた、機械工組合第一部代議員六十八名を筆頭に印刷勞働組合、造船勞働組合、合同勞働組合、東西讃鐵工組合等の代議員百五十六名は孰れも胸に徽章を着けて前列に繰込み、定刻前階上傍聽席は既に滿員になつた、會場正面の議長席を挾んで各組合旗の**槍先**がニブイ光りを放つてゐる、代議員中には鐵鋼工組合の束髪と桃割の婦人四人が、カーキ色や、茶つ葉の勞働服姿の代議員に混つて異彩を放ち、傍聽席には山名義鶴氏及び同夫人の洋裝姿を始め十數名の婦人傍聽者が眞面目に控へたのも大會氣分である、かくて議長に聯合會長は大會を宣し大會委員、書記を選任して**準備**は整ひ大會の幕は切つて落された、委員長から代議員資格審査の報告、祝辭、祝電の披露があり各組合長から所屬組合の報告、青柿主事から聯合會事業の報告、その他諸般の報告があつた、飽までも多數の意見を尊重する會の趣旨で些末にまで議論沸騰、かくて本問題に入つて二十五箇條から成る聯合會規約を審議した殊に會が十三年度に於て大いに伸びんとする各事業部設置の件では大いに甲論乙駁、然し最後の「最もよき案」に達し多數で可決し議長が挨拶を告げるため**卓を**叩く槌の音には乙も甲も破れるやうな拍手を送つた十二時會則の討議を終つて休憩、午後一時再開、この時から各組合提出の建議案の審議に入つた、借家人運動開始の件、日露兩國勞働組合物々交換開始の件、八時間制即行運動開始の件、運動阻害者撲滅の件等、孰れも火を吐くやうな**熱烈**な説明、反對意見、賛成演説交々渦をまいて「階級闘爭」「國粹主義」「失業救濟」の火花を散らしたが婦人部設置に就て議論の代表桃割れの娘さんが提案を説明し、少年倶樂部設置に就いて少年工が力説し代議員たちがこれに些かの私情も挾まさず眞摯に討議してゆく處など總て眞面目そのもの、發議であつた、より好からんために相當に**議論**が多く五時漸く建議の討議を終り既記の如く宣言、決議を決定委員を選んで役員選擧に移つたかくて聯合會長には去る大正十年の川崎爭議で目下岡山刑務所に收容中の野倉萬治氏を推し副會長に川見宗貞氏を推し川見氏の挨拶があつて閉會した一同は勞働歌を高唱し乍ら會場を雪崩れ出て勸業館の大演說會へと出掛けた

聽衆の胸裏にふかく 階級意識の烙印を印した

麻生久氏外十數名の辯士が こもごも熱辯を揮ふ

大會終了後の演說會

當日の大會を終つた聯合會大演說會は同夜七時から湊川**勸業**館で開かれた、定刻前から會場の溢れと開會を待設けてゐた勞働者たちとで會場は忽ち滿員になる、かくて關西各地から集まつた鈴島末吉、平井美人、板野勝美、湯山、貞觀、中谷王造氏等二十數名は現時の勞働状態、或は**資本**家の横暴振り、官憲の無理解振り等をあらゆる方面から論じ或は痛罵し最後に神戸聯合會主事青柿善一郎氏、關西勞働同盟會主事縣文六氏、東京本部から下神した河野密氏、坑夫總聯合會長麻生久氏等交々虹のやうな辯を振り聽衆に熱い**階級**意識の烙印を押し附け午後十時勞働歌高唱のうちに無事閉會した、臨檢高等課、所轄署からは警官數十名出張警戒してゐた